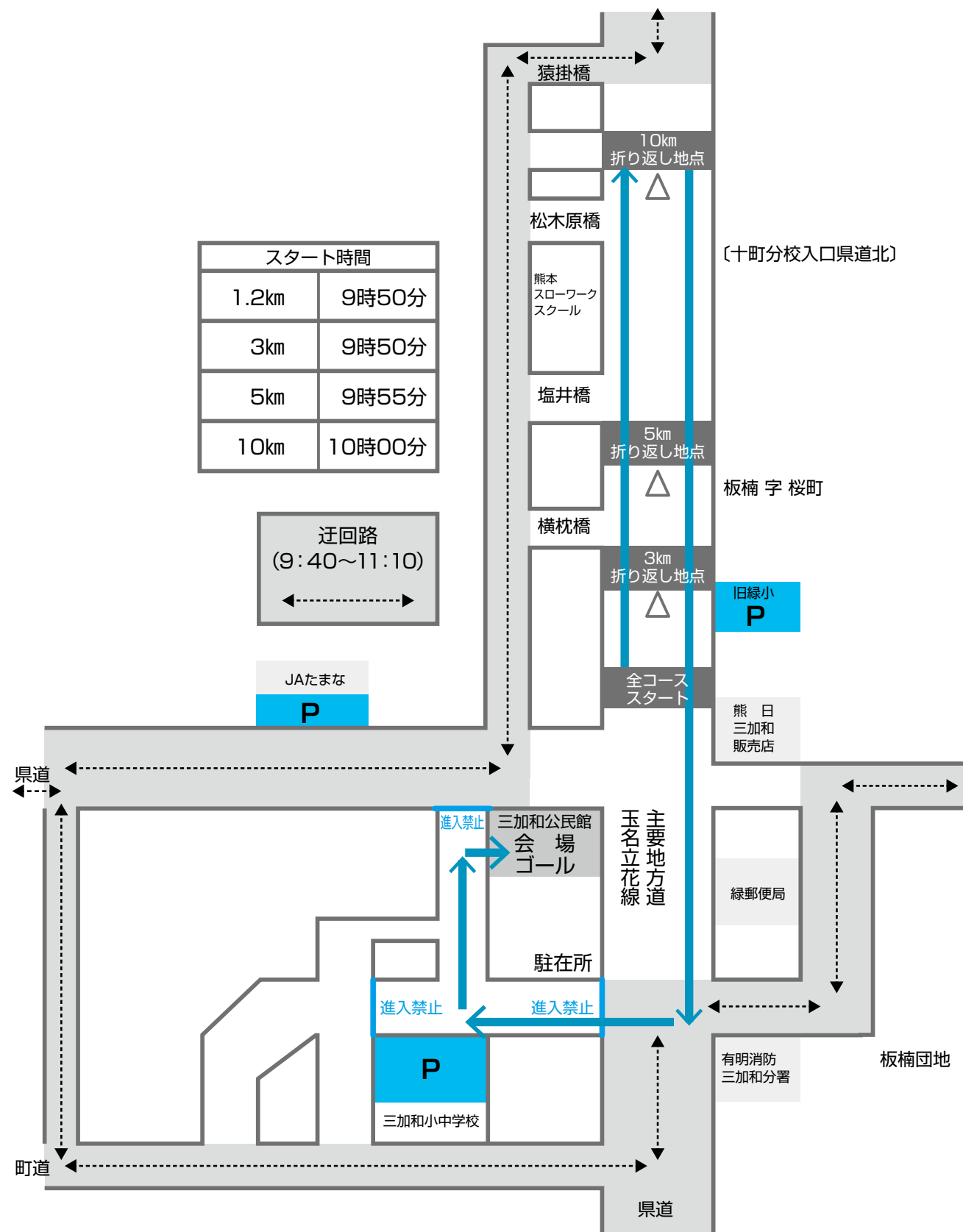


第34回 金栗四三翁マラソン大会（11/5）開催に伴う迂回路のお願い

町民のみなさんには大変ご迷惑をおかけいたしますが、大会参加者の安全確保のため、ご協力をよろしくお願い致します。

今大会も町内外からたくさんの方が出走されますので、沿道でのご声援をよろしくお願い致します。



大河ドラマ「いだてん」 和水町推進協議会発足!!

8月24日（木）、役場本庁で2019年大河ドラマ「いだてん」和水町推進協議会の設立総会が行われました。

この協議会は、行政・地域団体・商工観光団体・スポーツ団体・交通事業者等で組織され、大河ドラマ「いだてん」の放送を契機に、主人公である故金栗四三氏が残した数々の功績や日本スポーツ振興にかけた情熱を、生誕の地である和水町から全国に情報発信し、スポーツや教育、観光の振興につなげ、地域の活性化を図ることを目的として発足しました。

官民協働で「和水町＝金栗四三生誕の地」というイメージを定着させ、和水町を訪れるみなさんに喜んでいただける受入体制づくりと、大河ドラマ放送による経済効果を町全体に広げる仕組みを構築していくため、町・県・関係団体で連携して取り組んでいきます。



設立総会では活発な議論が交わされました



金栗四三氏の紹介

明治24年8月20日玉名郡春富村中林（現和水町）に生まれました（父が43歳の時生まれたので四三と命名）。

日本人初のオリンピック選手（マラソン）で、健康マラソンの普及や箱根駅伝・福岡国際マラソンの創設をはじめ、日本陸上競技界の礎を築きました。また、今では当たり前となっている高地トレーニングやインターバルトレーニングなどの練習方法を考案したほか、女子体育振興に力を注ぐなど、選手育成だけでなく老若男女を問わず広くスポーツに親しめるよう、普及に尽力しました。このことから、金栗氏は「日本マラソンの父」と慕われています。

町では、金栗氏の功績を称えるため、金栗氏を和水町名誉町民として顕彰しています。



生家隣にある記念碑